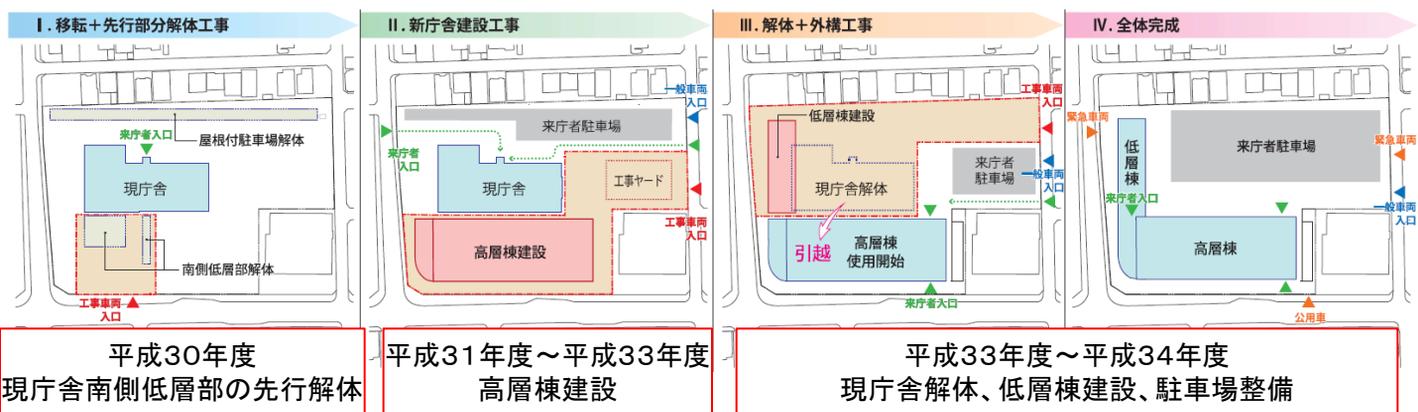


新庁舎建設かわら版 ～第18号～

新庁舎建設に伴い部署の移転を行います

新庁舎は、現庁舎で業務を行いながら、その南側に建設する計画です。

建設スペースを確保するため、平成30年度に現庁舎南側低層部を先行して解体し、平成31年度から平成34年度にかけて新庁舎建設工事を行う計画です。



現庁舎南側低層部を先行して解体するために、平成29年度から平成30年度にかけて、本庁舎と産業文化センター(北庁舎)の一部の部署の移転を段階的に行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

平成29年度中に、下記のとおり、部署の移転を行います。

移転日	部署名	現在	移転後
1月29日(月)	下水道課	本庁舎2階	水道事業庁舎1階 FAX 058-371-3140
	水道総務課	北庁舎5階	水道事業庁舎1階
	水道施設課	北庁舎5階	水道事業庁舎2階
2月13日(火)	環境政策課	北庁舎5階	本庁舎2階 FAX 058-383-6365

部署の移転に伴う電話番号の変更はありませんが、**FAX番号が変わる部署がありますので、ご注意ください。**

※平成30年度における部署の移転(予定)

移転時期	部署名	現在	移転後
5月	管理課・都市計画課・建築指導課・河川公園課・道路課・用地課	本庁舎2階	北庁舎5階・6階
7月	税務課・市民税課・資産税課	本庁舎1階	本庁舎2階
9月	市民課・医療保険課	本庁舎1階	本庁舎1階(位置の変更)

※移転日などの詳細は、随時、市ウェブサイトや広報紙でお知らせします。

みなさんのご質問にお答えします

平成29年11月に実施した、新庁舎建設基本設計(案)に関する市民説明会やパブリックコメント(意見募集)では、たくさんのご意見やご質問をいただきました。その中で、多かったご質問について、代表的なものを紹介します。

Q. 総工費やランニングコストはいくらかかるのですか？

A. 新庁舎の建設費用や維持管理費についてご説明します。

- ・新庁舎建設基本計画における概算事業費(80～88億円)は、計画策定当時(平成28年5月)に建設された他市の新庁舎の1㎡当たりの工事単価を時点修正した平均値45万円/㎡を採用して算出したものです。
- ・基本設計における概算事業費は、平成30年2月頃に判明する予定です。
- ・ランニングコスト(維持管理費)につきましては、導入する設備、受電容量などが未定であり、基本設計の段階で試算することは困難です。しかし、必要最小限のランニングコストで建物を良質な状態に保つためには、設計段階からライフサイクルコストを考慮して、ランニングコストの低減につなげていくことが欠かせないため、基本設計や実施設計において導入する設備機器類の機能や機種・グレードなどのコスト検証を行います。

Q. 避難場所として使用するのですか？

A. 防災拠点としての新庁舎の役割についてご説明します。

- ・市庁舎は、長期の避難生活を送るための「避難所」ではありません。なお、一時の避難スペースとして、低層棟の活用を想定しています。
- ・市庁舎は、災害時には「災害対策本部」が設置され、災害対策を行うとともに、各課の業務も行う必要があります。新庁舎は「免震構造」の採用、7日間連続運転が可能な「自家発電装置」等のライフラインの多重化など、災害発生後も庁舎機能を維持できる計画とします。

Q. 産業文化センターの部署は、新庁舎と一緒になるのですか？

A. 新庁舎の部署配置についてご説明します。

- ・建設する新庁舎の規模や事業費の縮減を図るため、北庁舎(産業文化センター)や水道事業庁舎などの既存庁舎を活用します。
- ・現在、北庁舎にある「環境政策課」については、市民生活と関わりが深いことから、新庁舎低層階の窓口フロアに配置する予定です。
- ・北庁舎には、新庁舎建設後も、教育委員会、産業活力部、選挙管理委員会事務局を配置する予定です。

Q. 消防本部の交差点は右折しにくいですが、信号を設置できませんか？

A. 敷地東側からの出入りについてご説明します。

- ・新庁舎の来庁者駐車場は、那加メインロードやけやき通りの交通状況を考慮し、敷地東側からのアプローチとし、東側道路及び那加メインロードの道路改良を計画しています。
- ・消防本部南東の交差点における信号機の設置は、交通量が多く、隣接する西側の交差点の信号機との距離が近いことから、新規設置は難しいと考えています。

お問い合わせ先

各務原市 企画総務部 管財課 庁舎等建設係
電話:058-383-1619(直通)

市ウェブサイト: <http://www.city.kakamigahara.lg.jp/>

(平成30年1月発行)